

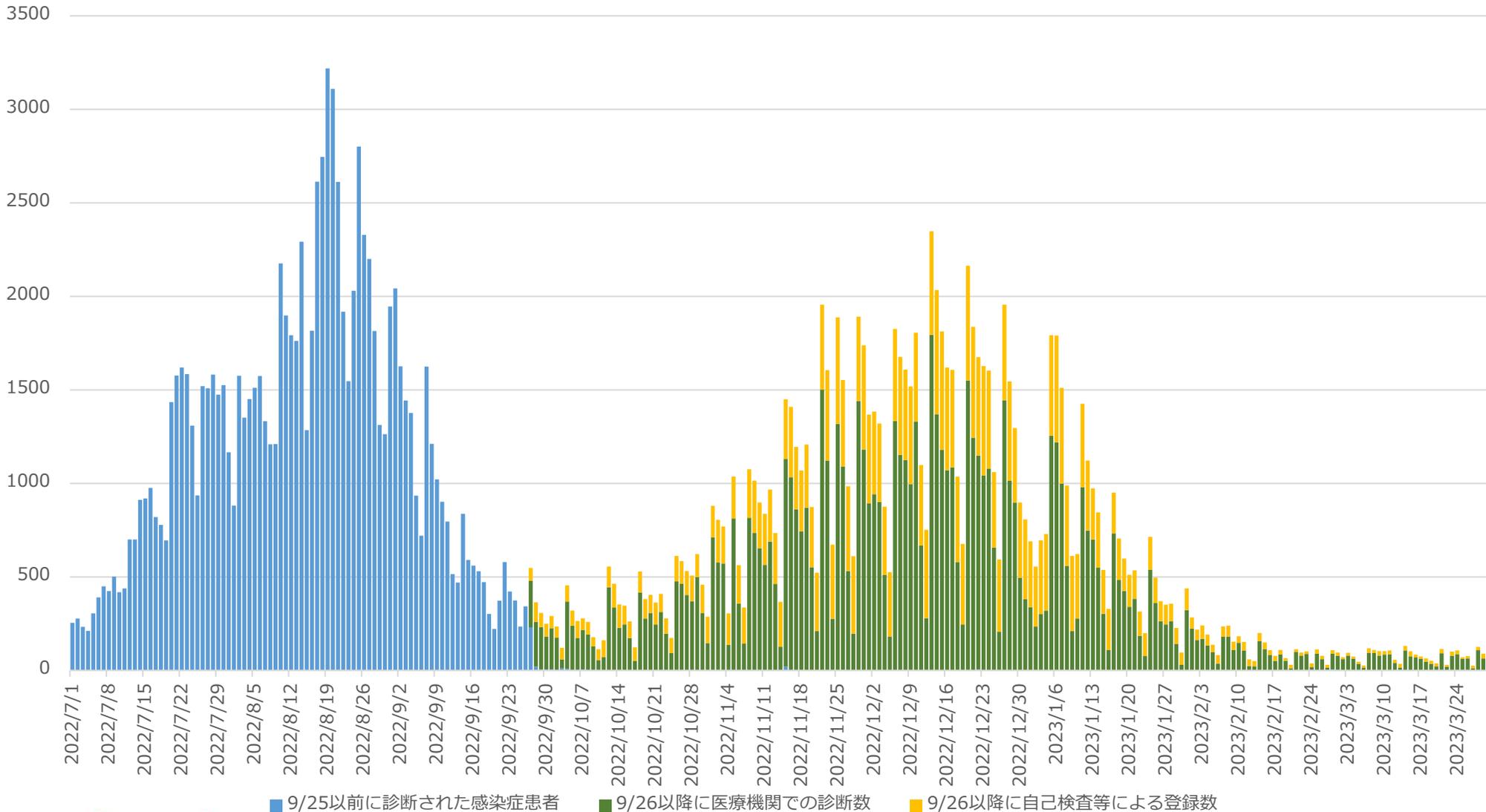
3月29日公表分まで

# 新型コロナウイルス感染症 感染の状況

令和5年3月29日

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部  
保健医療調整本部

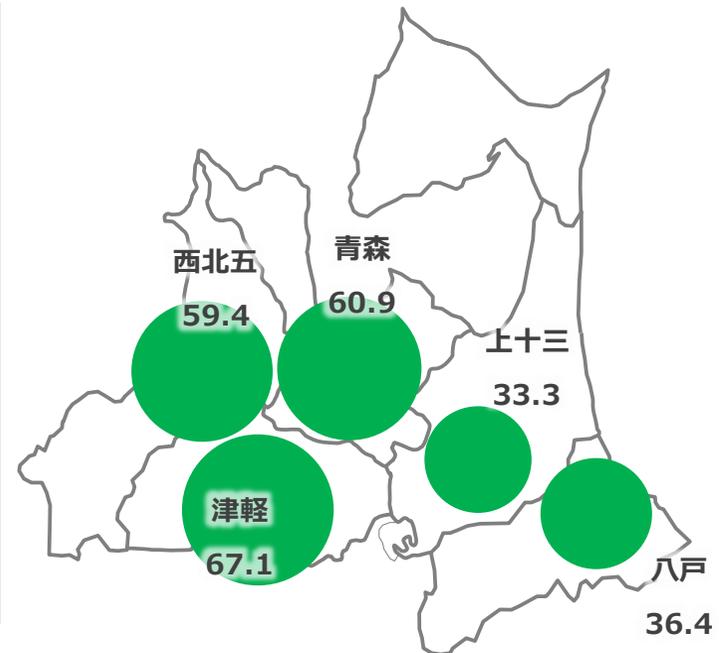
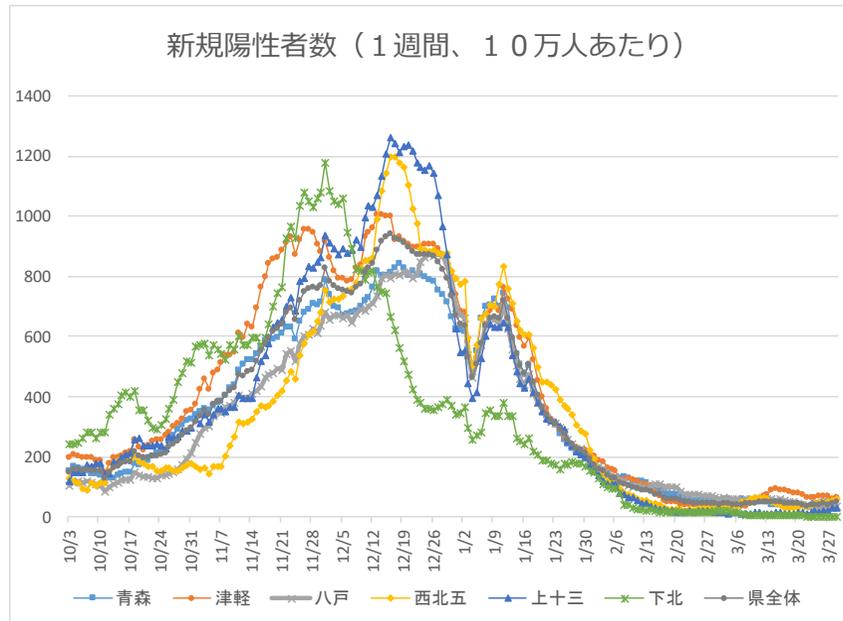
# 新規陽性者数の推移



# 人口10万人あたりの1週間の新規陽性者数

人口10万人あたりの1週間の新規陽性者数（判明日ベース）

	青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北	県全体
2023/3/29 (前週比)	60.9 (1.770) ↗	67.1 (1.046) ↗	36.4 (0.941) ↘	59.4 (1.556) ↗	33.3 (2.619) ↗	0.0 (0.000) ↘	48.9 (1.296) ↗
2023/3/22 (前週比)	34.4 (0.833) ↘	64.1 (0.681) ↘	38.7 (0.663) ↘	38.2 (0.818) ↘	12.7 (0.808) ↘	1.5 (0.250) ↘	37.8 (0.719) ↘
2023/3/15 (前週比)	41.3 (0.727) ↘	94.2 (2.495) ↗	58.4 (0.967) ↘	46.6 (0.887) ↘	15.7 (1.182) ↗	6.0 (0.667) ↘	52.6 (1.181) ↗



# 1週間あたりの発生届受理件数

## 3/23～3/29公表の発生届受理件数（市町村別）

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
青森市保健所	青森市	11～50人
東地方保健所	平内町	0人
	今別町	0人
	蓬田村	0人
	外ヶ浜町	0人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
五所川原保健所	五所川原市	1～10人
	つがる市	1～10人
	鱒ヶ沢町	1～10人
	深浦町	0人
	鶴田町	1～10人
	中泊町	1～10人

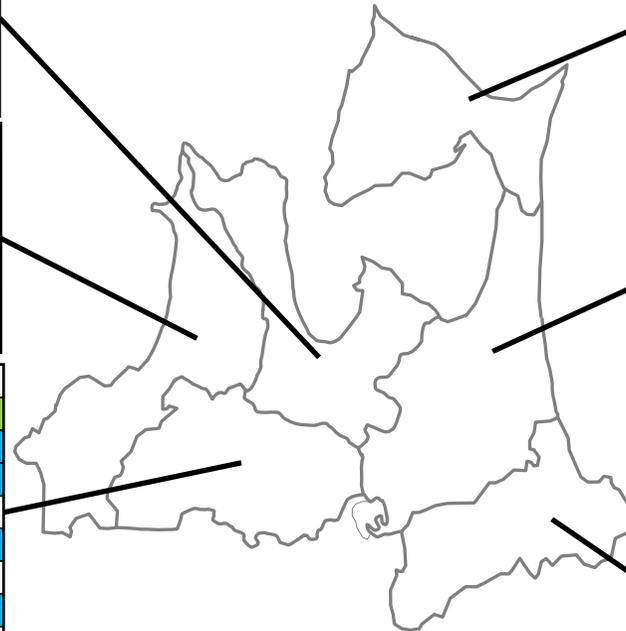
管轄保健所	市町村名	累計感染者数
弘前保健所	弘前市	11～50人
	黒石市	1～10人
	平川市	1～10人
	西目屋村	0人
	藤崎町	1～10人
	大鱧町	0人
	田舎館村	1～10人
	板柳町	0人

凡例	人数
	0人
	1～10人
	11～50人
	51～100人
	101～200人
	201～500人
	501人～

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
むつ保健所	むつ市	1～10人
	大間町	0人
	東通村	0人
	風間浦村	0人
	佐井村	0人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
上十三保健所	十和田市	1～10人
	三沢市	1～10人
	野辺地町	0人
	七戸町	1～10人
	六戸町	1～10人
	横浜町	0人
	東北町	0人
	六ヶ所村	0人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
八戸市保健所	八戸市	11～50人
三戸地方保健所	三戸町	0人
	おいらせ町	0人
	五戸町	1～10人
	田子町	1～10人
	南部町	1～10人
	階上町	1～10人
	新郷村	1～10人

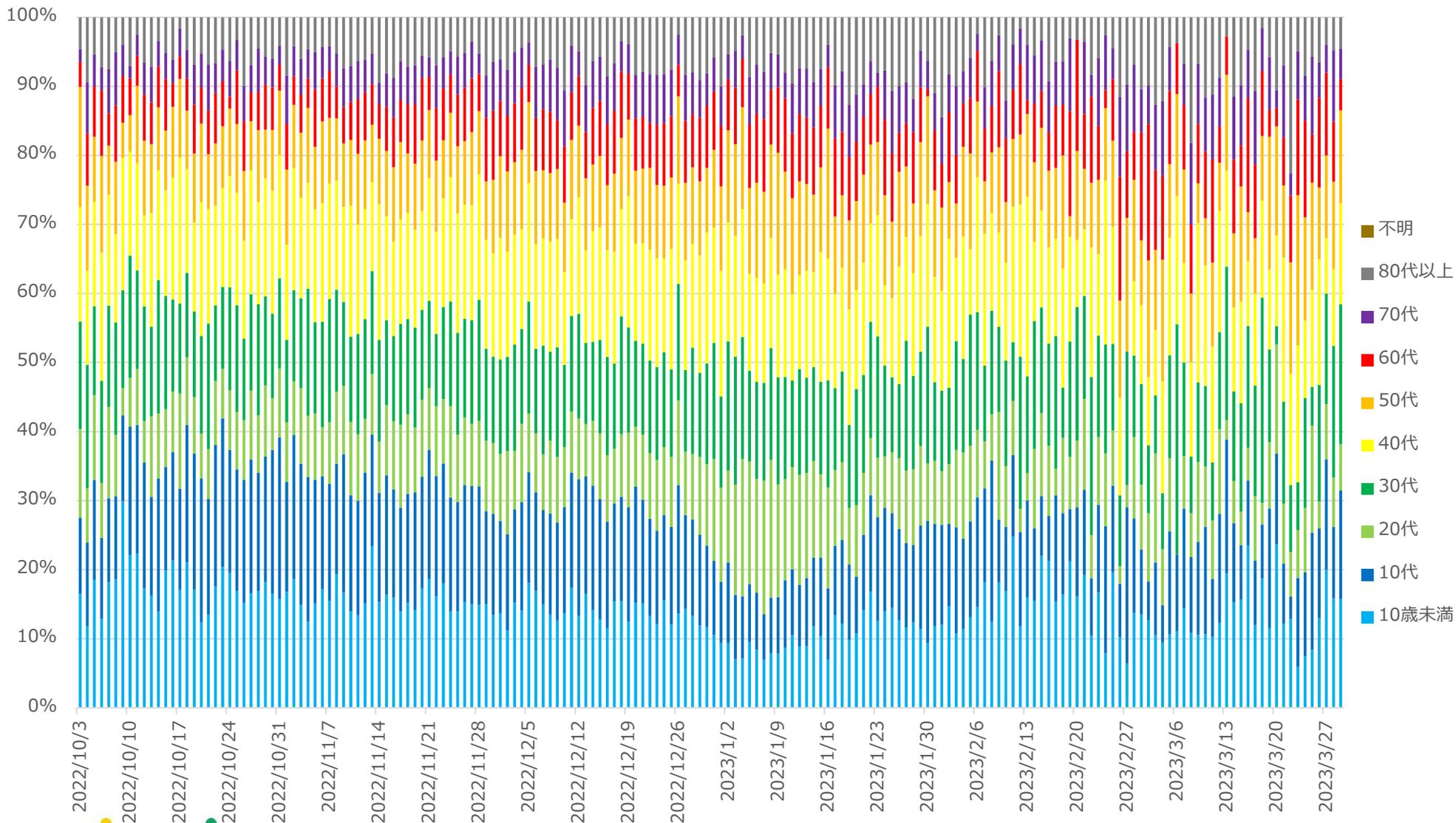


発生届受理件数 121 名

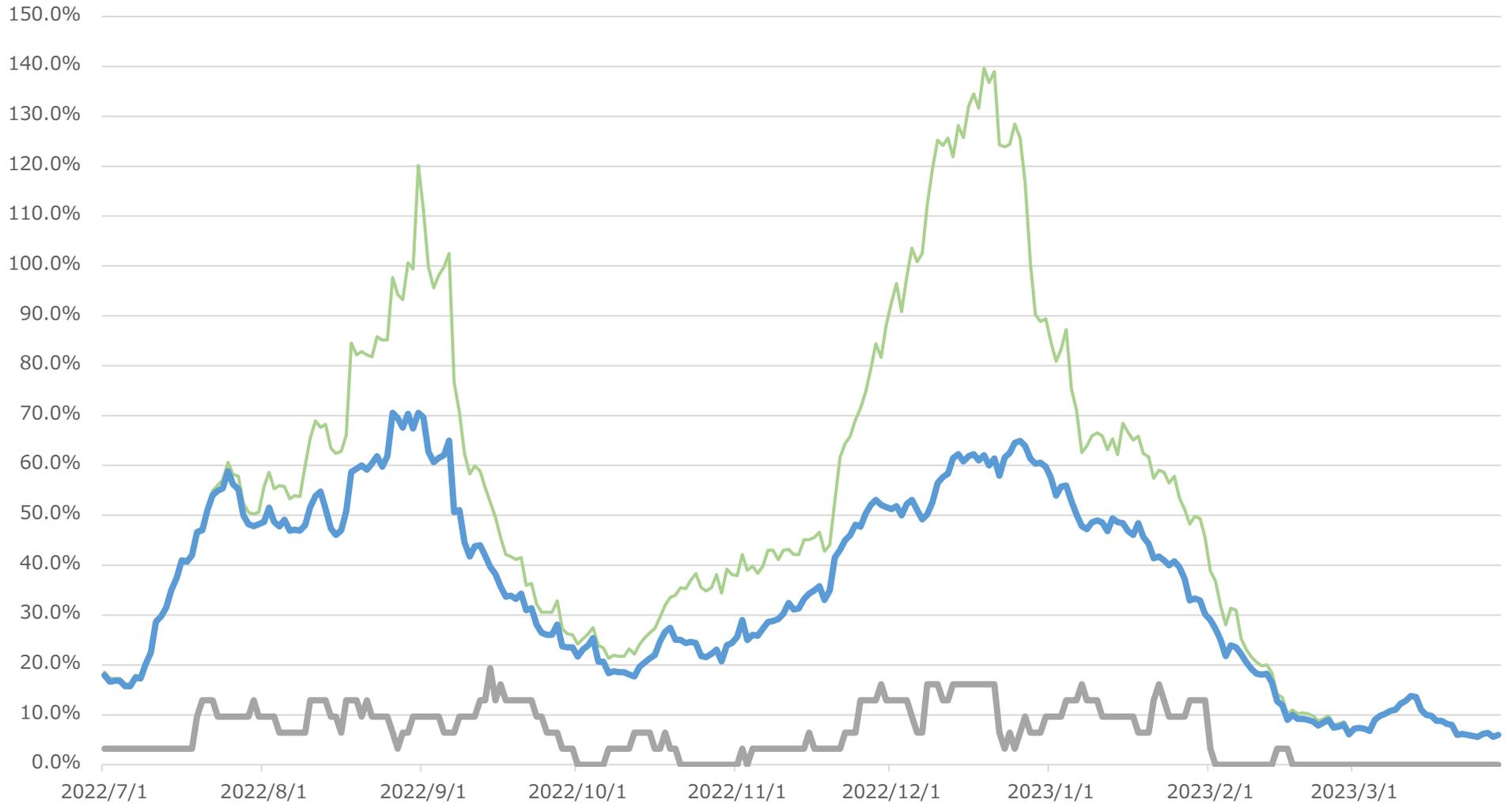
〔 県内 120 名  
不明・県外 1 名 〕

※ 9月26日以降は、発生届受理件数の集計であり、従前の新規感染症患者数の集計とは異なります。

# 新規陽性者数の年齢階級別割合の日別推移



# 病床使用率の推移



— 計算上の病床使用率 — 確保病床使用率 — 重症病床使用率



# 療養状況

【3月29日現在】

	入院者数
重症	0
中等症	8
その他	22
計	30

※計算上の病床使用率

**6.0%**

( 30/500床)

※確保病床使用率

**6.0%**

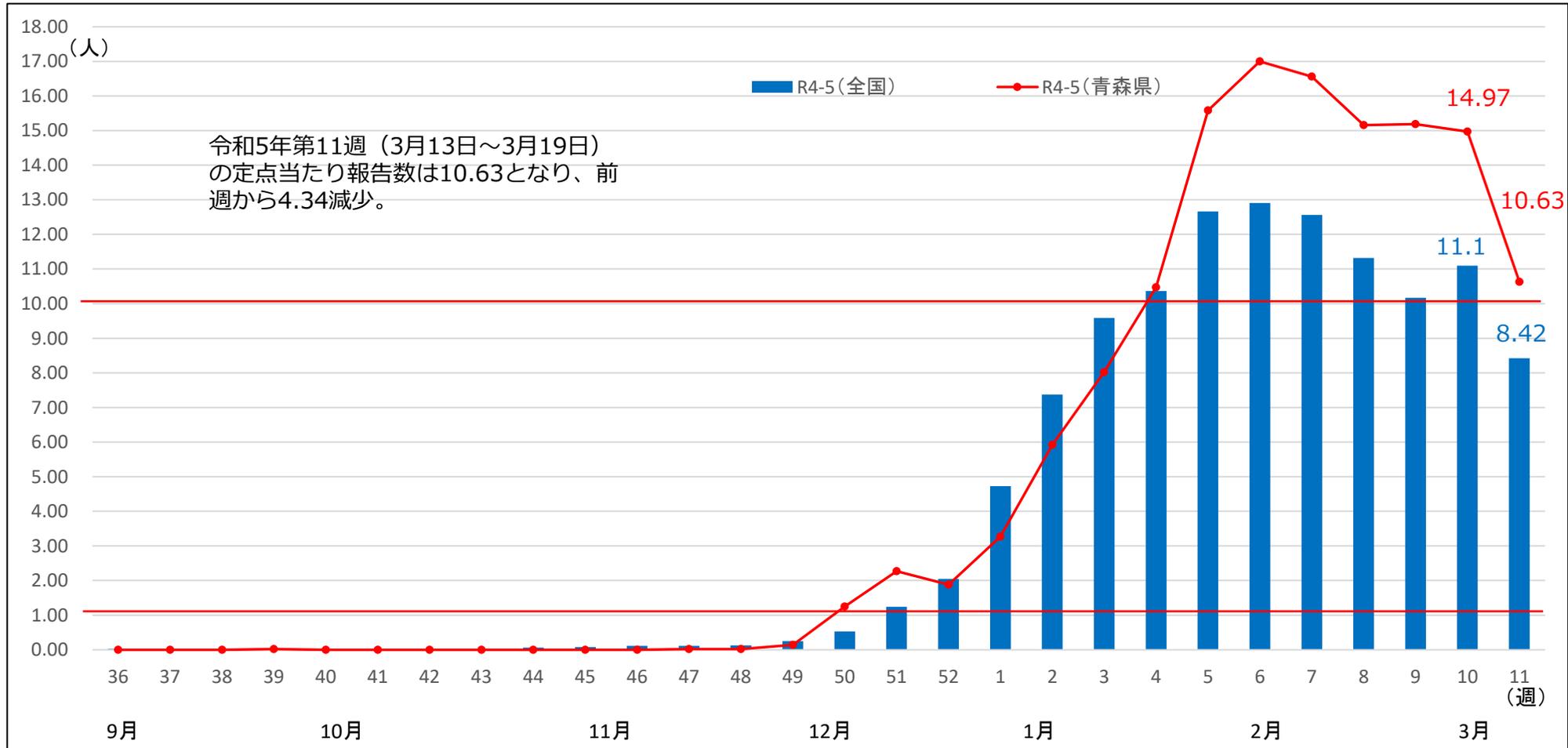
( 30/500床)

宿泊療養者数

1

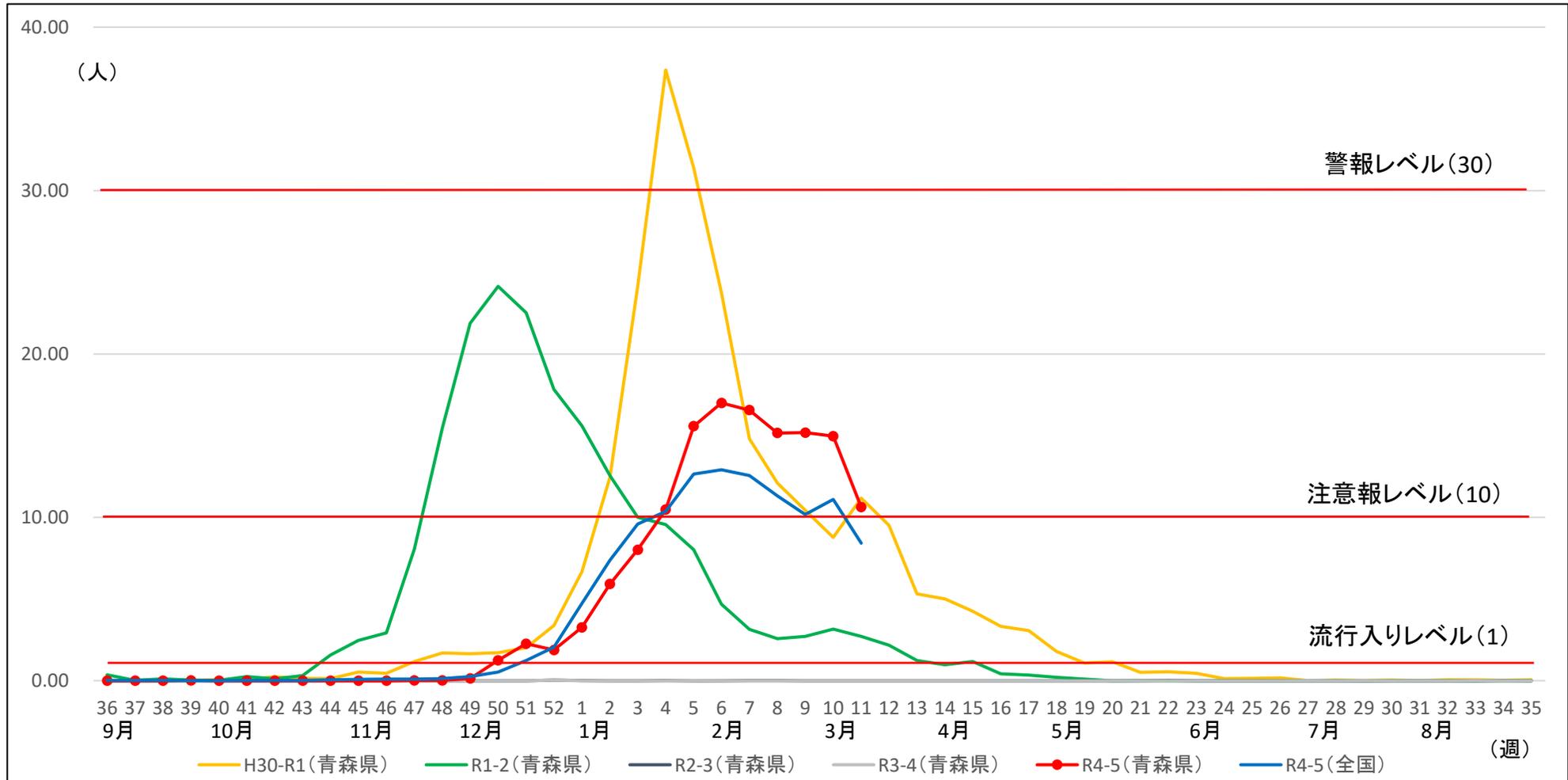
# 季節性インフルエンザの発生状況①

【インフルエンザ定点当たり報告数の推移（R4.9月～青森県、R4.9月～全国）】



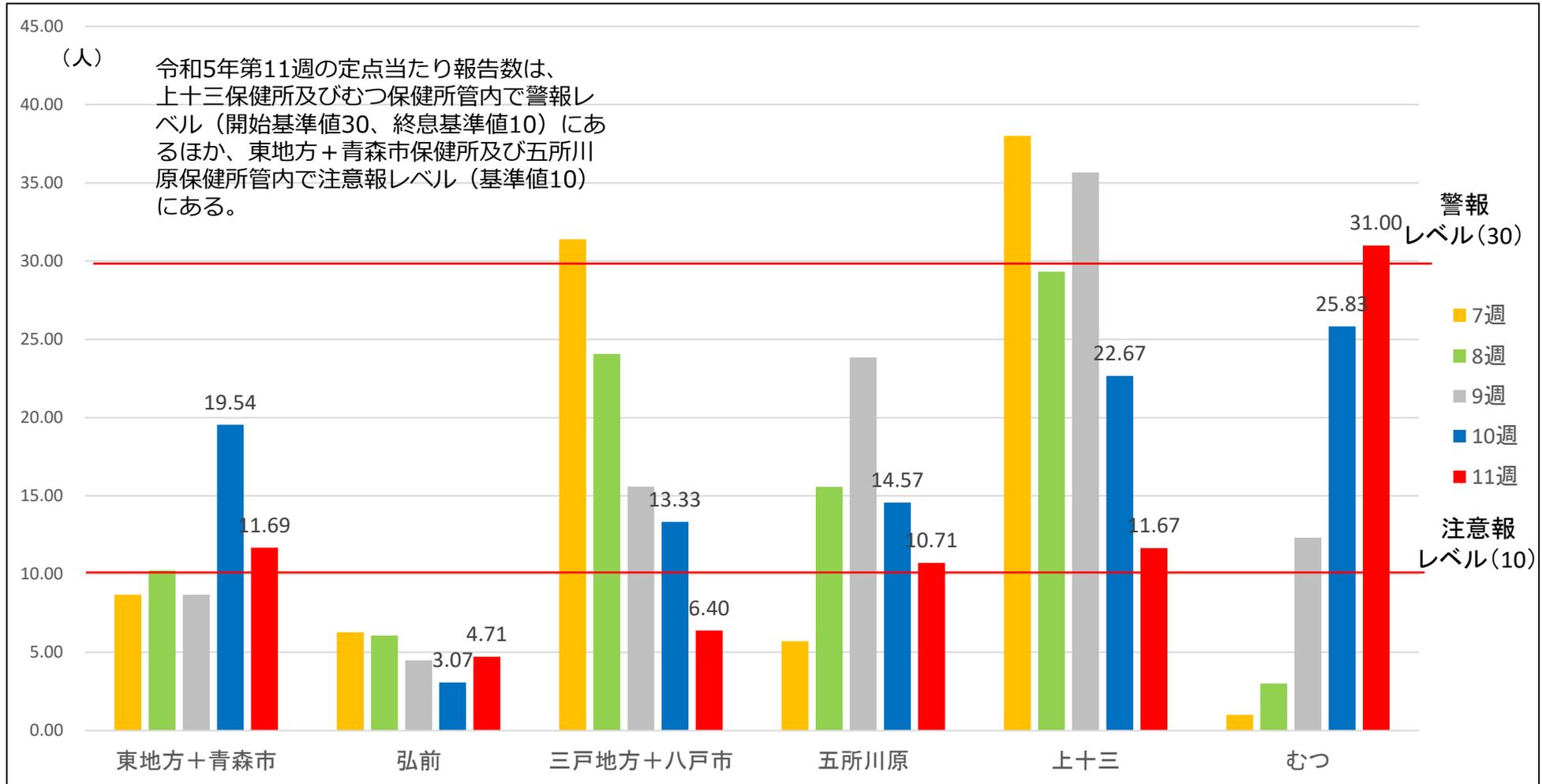
# 季節性インフルエンザの発生状況②

【インフルエンザ定点当たり報告数の推移（H30-R1・R1-2・R2-3・R3-4・R4-5青森県、R4-5全国）】



# 季節性インフルエンザの発生状況③

【保健所管内別インフルエンザ定点当たり報告数の推移（R4-5青森県第7週～第11週）】



# まとめ（感染状況の評価）

1. 新規陽性者数は、1週間（3/23～3/29）の合計596人（対前週比1.296）となっており、全国と同様ほぼ横ばいで推移している。
2. 新規陽性者のうち、70代以上の方の割合は、現状は13.1%となっている。
3. 確保病床使用率は6.0%、重症者数及び病床使用率は0人、0%となっている。県内全体では入院が必要な状態の新規陽性者・重症患者が発生した際には、入院できる体制を維持できている。
4. 季節性インフルエンザについては、県全体では減少しているが、一部の保健所管内では、警報又は注意報レベルに達しているところであり、引き続き、注視していく必要がある。